

あの頃の津山

勤労奉仕と津山高等女学校 (昭和13年頃)

写真提供 江見写真館



津山高等女学校（現在の津山高等学校）の生徒が「勤労奉仕」として、軍部に供出するための真綿（蚕の繭を綿状にしたもの）の加工作業を行っている様子です。

勤労奉仕は、第2次世界大戦中、盛んに学校教育に組み込まれた労働で、津山高等女学校では、昭和13年から本格的に始まりました。最初の年の労働は、学校内外の清掃や真綿の加工作業、出征家庭での洗濯・裁縫の手伝い、生徒の運動服の製作などを、主に夏休み期間中の1週間ほど行いました。

写真では、水を張ったたらいの中で繭玉をほぐしたり、真綿の形を整えて干したりしています。作業は、指導員が煮た繭を水の中で加工するものでした。真夏に、繭を煮る臭い匂いの中での作業は、大変きついものだったようです。

生徒や指導員からは、厳しい表情は見られませんが、奥の壁には「蚕糸報国」「国民精神総動員」などの戦時色の濃い標語が掲げられ、当時の雰囲気が見取れます。



勉学に励む現在の津山高等学校の生徒

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

図津山郷土博物館
☎22・4567

つぶやき編集室

鼻水が止めどなくあふれ出てくる。…これって、…きつと、風邪だよな。先月のつぶやきで風邪を引いてないとアピールしたばかりだったのに。…今こそ、これまでのつぶやき編集室で書いた「健康ネタ」の出番だ！ ニンニクを食べる！ 温かくして、無駄な体力の消耗は避ける！ 治った！(´▽`)

そろそろ花粉症の症状が出る季節。予防のために、外出時にマスクを着用する人が多く見られます。アロマオイルによる花粉症対策もあるみたい。例えば、ペパーミントのオイルを付けたマスクを付けると、ミントの香りでスッキリするとか。ゆううつな季節も、お洒落に過ごせるといいですね。(G)

美作国建国1300年記念事業、皆さんはこの1年でどんな再発見をしましたか？ わたしはこの事業を通して、今まで知らなかった場所を訪れ、いろいろ見聞きするうちに、美作国は逸話や伝説の宝庫だと感じました。これは掛け替えのない財産です。語り継ぐことの大切さを再認識しました。(修)

今月の表紙

男のエプロン教室

2月14日

勝北保健福祉センター

(新野東)

編集・発行（毎月10日発行）

津山市総合企画部秘書広報室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページ

☆秘書広報室のフェイスブックはこちらから

<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



秘書広報室フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（雑誌）にご協力ください